

運 転 操 作 手 順

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項	
1	乗 車	〔注：乗車前のフォークリフトの周囲及び下部の安全確認は省略する〕 1 運転席「左横」に進み、両足を揃えて立つ 2 左手はヘッドガードの柱（握手）をにぎり、右手は座席の背もたれをにぎる 3 左足をステップ上に乗せて乗車する 4 着席後の座席を調整する 5 後写鏡の写影を調整する 6 シートベルトを着用する 7 各種レバーが中立位置にあるかを確認する 8 駐車ブレーキがかかっているかを確認する 9 エンジンキーを始動スイッチに差込む 10 ブレーキペダルを踏込む 11 エンジンキーを「START」位置まで回してエンジンを始動させる	各 操 作 手 順 共 通 事 項	1 前方、後方、側面等の安全確認は確実に実施する 2 前後進レバーを入れる前に駐車ブレーキを外さない 3 前後進レバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏込む 4 駐車ブレーキの外し忘れをしない 5 走行中は左手でハンドルノブを握っていること 6 走行中右手をレバーの上に乗せない（膝の上に置いていること） 7 発進及び曲がり角進行時に進行方向（左右を含む）の安全確認をする（前後進とも） 8 フェンスとの接触、コースから脱輪をしない 9 空フカシ、エンスト、誤動作、前後進のやり直しをしない 10 急発進をしない 急ブレーキをかけない 11 コース上ではインチングペダルは使わない。 12 方向指示器の操作は省略してもよい
2	発 進	1 フォークをリフトする（地上5～10cm） （注）計測開始 2 マストを後方一杯にティルトする（フォークの高さは地上15～20cm） 3 前方及び側面の左右の安全を確認する 4 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外す 5 静かに発進する		1 リフトより先にティルトしない 2 マストを後ろ一杯にティルトする 3 フォークの高さが高過ぎないか（地上20cm超） 4 フォークの高さが低過ぎないか（地上15cm未満）

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項
3	①→② 走 行	架 台 ま で の 走 行	
		1 前進で安全走行をする	1 フェンスとの接触注意
		2 架台の手前に来たら、徐行運転をする	2 最徐行
		3 架台上の積み荷パレットの中心線とフォークリフトの中心線を合わせ、ゆっくりと前進する	3 フォークの先端がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内)
		4 フォーク先端基準線で停止する	
		5 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にする	4 積み荷パレットの中心とフォークの左右のずれを少なく (約10cm 以内)
4	取おろし	1 マストを垂直にする	1 荷に対してフォークを直角にする
		2 フォークをパレットの差込口に合うようにリフトする	2 マストをティルトしながらリフトしない
		3 前方の安全を確認し、前後進レバーを前進に入れて、駐車ブレーキを外す	3 2段取りをする
		4 静かに前進して、フォークの根元が10～20cm 残るように差し込み停止する	4 フォークを差し込む時パレットをこすらない
		5 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にする	5 フォークを差し込む時パレットを突かない
		6 静かにリフトして止める。(パレット下面と架台上面の間隔を5～10cm にして止める)	6 架台にフォークリフトを接触させない
		7 安全確認をする(積み荷の安全度、荷崩れ、フォークの位置等)	
		8 後方の左右の安全を確認する	7 リフト時の高さが高過ぎない (パレット下面と架台面までの間隔を10cm 以上にしない)
		9 前後進レバーを後進に入れて、駐車ブレーキを外す	8 荷重のためパレットが下がるが直す必要なし
		10 静かに後進し、パレット端面と架台の端面が一致する位置にて停止する	9 パレット下面と架台が接触した状態でフォークリフトを移動させない
		11 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	10 フォークでパレットをこすったり、パレットを引きずらない
		12 架台上にパレットを置く(フォークは、パレットの差込口の中間で止める)	11 フォークを根元まで差し込む
		13 前方の左右の安全を確認する	
		14 前後進レバーを前進に入れて、駐車ブレーキを外す	
		15 パレット端面がフォークの垂直部に接触するまで静かに前進し、停止する	

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項
4	取 お ろ し	16 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	12 荷をリフトした時は、常に荷の安定を確認する 13 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内)
		17 静かにリフトして止める (パレット下面と架台上面の間隔を 5～10cm にして止める)	
		18 後方の左右の安全を確認して、前後進レバーを後進に入れる	
		19 駐車ブレーキを外し、パレット端面が架台に接触しない位置まで静かに後進し、停止する	
		20 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	
		21 フォークを降下させる (パレット下面と床面の間隔を 5～10cm にして止める)	
		22 マストを後ろ一杯にティルトする	
5	③→④ 積 荷 後 進 走 行	停 止 線 A ま で の 走 行	
		1 後方の左右の安全を確認する	
		2 前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外す	
		3 静かに後進し、④の位置で停止する	
		4 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	
6	⑤より 停止線 Aまで 積 荷 前 進 走 行	1 前方の左右の安全を確認する	1 停止時の審査基準の詳細は別紙4を参照すること 2 一旦停止した後に前後の調整走行は行わないこと 3 ブレーキペダルは踏んでいること 4 Aにおける一旦停止時間はおおむね3秒程度
		2 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し、停止線Aまで前進する	
		3 停止線に近づいたら徐行し、パレット先端が停止線A内に納まる位置で一旦停止する	
		4 前後進レバーを中立に入れる	
7	停止線 Aより 停止線 Cまで 積 荷 前 進 走 行 と 積 荷 後 進 走 行	停 止 線 B ま で の 走 行	
		1 前方の左の安全を確認する	1 停止線Cの内側まで入れる 〔パレットの先端からフェンスまでの距離が離れすぎでないか (20cm 以内)〕 2 Bにおける一旦停止時間はおおむね3秒程度
		2 前後進レバーを前進に入れ、停止線Cの内側まで前進して停止する	
		3 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にいれる	
4 後方の左右の安全を確認し、前後進レバーを後進に入れて、駐車ブレーキを外し、停止線Bまで後進する			

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項
	積 荷 後 進 走 行	5 停止線に近づいたら徐行し、カウンタウエイトの先端が停止線B内に納まる位置で一旦停止する 6 前後進レバーを中立に入れる	3 停止時の審査基準の詳細は別紙4を参照にすること 4 ブレーキペダルは踏んでいること
8	停止線 Bより ⑩まで 積 荷 後 進 走 行 ・ 積 荷 前 進 走 行	架 台 ま で の 走 行 1 後方の右の安全を確認する 2 前後進レバーを後進に入れ、後進で⑧まで安全走行し停止する 3 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 4 前方の左右の安全を確認する 5 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し前進にて⑩まで安全走行をする 6 架台の手前に来たら徐行運転をする 7 架台の中心線とフォークリフトの中心線を合わせ、ゆっくりと前進する 8 架台の手前で停止する 9 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中心に入れる	1 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm以内)
9	積付け	1 マストを垂直にする 2 パレットを静かにリフトして止める(パレット下面と架台上面との間隔を10～15cmする) 3 パレット下面と架台上面との間隔の適否を確認する 4 前方の左右の安全を確認する 5 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し、静かに架台へ前進する 6 パレット端面と架台端面とが一致する位置で停止する 7 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 8 パレットを静かに架台上に下ろす(フォークはパレットの差込口の間で止める) 9 後方の左右の安全を確認し、前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外す	1 マストをティルトしたままリフトしない 2 パレットと架台との接触に注意する 3 走りながらリフトやティルトの操作をしない 4 フォークリフト前輪を架台に接触させない 5 2段取りとする 6 荷の安定を確認する

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項
		10 フォーク垂直部とパレット端面の間隔が10～20cm位になるまで後進する 11 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 12 パレット下面と架台上面との間隔が5～10cmになるようにフォークをリフトする 13 前方の左右の安全を確認し、前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外す 14 定位置（パレットを置く位置）まで前進して停止する 15 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 16 パレットを静かに架台上に下ろす（フォークを差込口の中間で止める） 17 後方の左右の安全を確認する 18 前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外し、フォーク先端が架台に接触しない位置まで後進し、停止する 19 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れ、フォークを地上5～10cmになるまで降下する 20 マストを一杯にティルト（後傾）する	7 フォークを抜くときパレットをこすらないようにする 8 パレットを置く位置は、白色テープでマーキングされている（1.20m×1.20m） 9 定位置の枠から出ないようにする 10 荷の安定を確認する 11 フォークがパレットをこすらないようにする 12 フォークの先端がフォーク先端基準線内にあること（20cm以内） 13 フォークを降下する前にティルトしない
	スタート地点までの走行及び停止と下車		
10	⑪→⑫ 後 進 走 行 ゴール 停 車 下 車	1 後方の左右の安全を確認する 2 前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外し後進する 3 スタート地点で停止する 4 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立にする 5 マストを少し前にティルトし、フォークが軽く地面に接触するまで降下する 6 エンジンキーを「OFF」の位置まで回して、エンジンを止め、エンジンキーを抜く 7 左側の前後方向の安全を確認する 8 左手でヘッドガードの柱（握手）をにぎり、右手は座席の背もたれをもって、ゆっくりと後ろ向きにて下車する （注）計測終了は、両足がついた時 9 エンジンキーを審査員に手渡す	1 発進時フォークの高さが高過ぎないか（20cm超） 2 停止位置不良（前後30cm以上左右20cm以上。白線で明示する） 3 飛び降りない 4 左側から降りる 5 標準時間の5分を越えないように